

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの園みらいず初雁 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	2025年 11月 20日		～ 2025年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土日や祝日には調理や工作・公園への外出や買い物等の行事を行ない様々な体験が出来る様になっている。また、平日は月替わりの粗大運動・微細運動を行っており活動に飽きが無い様になっている。	土日、祝日は季節の工作や調理を行い季節感を体験してもらったり様々な体験を行う事が出来る様に工夫をしています。粗大運動・微細運動では1ヶ月の中で、少しづつ内容を変えており飽きがこない様に工夫をしている。	充実した行事を行なう為に、ご家族に休日にどのような事を行いたいアンケートを実施し、ご利用者様の満足度に繋げていく。 粗大運動・微細運動の内容をご家族にわかり易くお伝えする為にHUGの機能を使用していく。
2	ご注文いただくことで、厨房で調理した出来立ての給食が提供され、出来たての温かい食事をとることができる。	長期休暇や祝日でも出来立ての給食を提供しており、温かい状態で食事をとることができる。また、ご家族の方へ事前にメニュー提供することで好きな献立を注文できるよう工夫している。	食の楽しさを高めるために、土日や祝日のプログラムで野菜を育て、収穫したものを厨房だけでなくプログラムの一環として調理をし、食事をとる取り組みを検討していく。
3	子どもたちが活動を行う室内や屋上・廊下等に十分なスペースがあり、のびのびと活動や自由時間を過ごす事が出来ている。	プログラムに合わせて、長い廊下を使ったり屋根の下の駐車場で水遊びをしたり、指導訓練室の壁にプロジェクターを投影してダンスをしたりと用途に合わせて子どもたちがのびのび活動できる様に工夫をしている。	屋上を使っている粗大運動等のプログラムは今まであまり行っていないので、外で行うプログラムとして活動を検討していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会があまりない。兄弟同士の交流の機会があまりない。	法人のお祭りでご家族の方も施設を見学する事が出来るイベントはあるが、ご家族が参加をするイベントや交流会の企画はほとんど行わない。	ご家族の方が参加できるイベントや行事の開催を検討し、ご家族間で交流する事が出来る場を設ける事が出来る様に行きます。 また、お祭りだけに限らず発表会等の開催を行いご兄弟の方も参加できる様な催しを考えて参ります。
2	事業所で非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われているが、ご家族にしっかりと伝える事が出来ていない。	避難訓練や非常災害の発生に備え備蓄を行っているが、ご家族にお伝えする部分が弱くなっており、アンケートでもわからないが多くなっていると思われる。	消防訓練を行った際に現在もSNSを使いお伝えしているが、HUGを使いお知らせとしてお伝えする事で、実施している事をご家族の方に幅広く周知出来る様にする。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会を設ける事があまり出来ていない。	法人内の他事業所との交流行事はあるが、地域のこどもとの交流はあまりない。また、地域のイベントの情報収集があまり出来ていない。その為、地域の方と交流する機会が少なくなっている。	地域の公園など、地域の方が集まる場所での行事を行なっていく。地域のイベントへの参加を行う事で地域の方や子ども達と交流する機会を作っていく。また、地域向けのイベントを地域の方に来て頂き交流する機会を提供出来る様に検討していく。



	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	25	2	1	1		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30		1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	1				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26			5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19			12		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30			1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	1		3		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	31					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	26	2	1	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	28	2	1		利用日を短くしてほしい月3回の通所ですが、支援員の皆さんとても優しく、子どもをよく見て下さり感謝しています。サービスには大変満足しております。いつも帰りに見てくださり、十分な笑顔が返けられていることに感謝を申し上げます。ゆめの園さんは予約がキャンセル待ちになることが多いので、別の予約がすぐぶらくなっています。キャンセル待ちになる日が早めにかかるかと大変助かります。	現在、多数の方が契約をされており、皆様にご利用して頂きたい所ではありますが、定員の関係でキャンセル待ちを出しております。また、ご利用の調整する関係で決定が20日前後となっております。ご不便をお付けしております。キャンセルが出た際には速やかにご連絡致します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ゆめの園みらいす初雁 放課後等デイサービス				公表日	2026/2/25
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室の他、多目的室・屋上や廊下などを利用し支援を行っています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		児童指導等員加配加算を取得し適切な職員配置数で行っています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		一日の流れを絵で分かる様に提示をしたり、扉の送迎甲もどれに乗るか額写真を使いわかりやすくし、視覚化をしています。施設内はバリアフリーになっており、配慮した作りになっています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃チェック表を用いて清掃を行っています。取り組むプログラムに合わせて、屋上や廊下を使い活動を行っております。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		クールダウンが必要な時には、静養室や多目的室、空いている部屋を使用し対応する事が出来ます。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		月1回行う事業所内会議の際に、進行中の業務の確認をしたり、振り返り、新しい担当決めをしています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者からの評価表の集計後に職員が確認をしそれに対しての会議を開催しています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		月に3回、各職員と1on1ミーティングを行い意見の把握をし、業務改善に繋げています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価を行う事が出来る様、検討していきます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		全職員が毎月決められた項目の研修動画を視聴し質の向上に努めています。		
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HUGにて5領域に分類された当日のプログラムの内容を公表しています。また、土曜日、祝日のプログラムにも5領域をわかり易く記載しております。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の記録を確認したり、面談・自宅の様子を聞き取り適切に行っている		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		児童発達支援管理責任者だけでなく、児童指導員、保育士の意見を反映出来る会議を行っています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		全ての職員がいつでも閲覧する事が出来る様にしています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインに沿って行っています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		行事や活動プログラムは職員間で話し合いを行い決定しています。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		毎月違う内容のプログラムを提供しています。また、土曜日・祝日は普段行う事の出来ないプログラムを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		当日出勤する職員がそろってから朝礼を行い当日の打ち合わせを行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		帰り送迎後に職員で終礼を行い、当日の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後に記録の記述を行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6ヶ月に一回モニタリングを実施しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○		複数組み合わせをして活動を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		おやつ買い物等自己選択の機会を提供しております。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者が会議に参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関等の話し合いがある時には参加をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		マチコミに登録しています。また、引継ぎの際に様子の確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		児童発達支援センターの相談員さんと連携を取っています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			障害福祉サービス事業所に移行される方が現在いらっしゃっておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		児童発達支援センターの相談員さんと連携を取っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		川越市内にある法人内の他事業所と合同の行事を行っています。	地域の方を招いてのイベントの開催を検討して参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		法人内の他事業所が自立支援協議会の子ども部会に参加をし情報の共有を行っています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		申し送りの際にお話をさせて頂いたり、HUGでのメッセージや面談の際に情報提供しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族に情報提供やご家族が参加できる研修の機会を提供できる様検討して参ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約の際に、重要事項説明書を用いて説明をさせて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		面談等にて意向の確認を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		面談を実施したり、申し送りの際に相談に対応させて頂いています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		ご家族様と交流する事が出来る、行事を検討して参ります。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった際には、苦情対応マニュアルに沿って対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		広報誌をHUGにて公開させて頂いております。また、土曜日・祝日プログラムを配布と掲載しています。また、法人のSNSにて活動の様子を公開しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報については、定められた場所にて管理を行っております。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人で開催してお祭りに地域の方を招待しております。また、川越市内の大学の実習生を受け入れています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成し、発生した時を想定して訓練を行う事は出来ています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを作成しそれに基づいた備蓄や訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		ご利用を始める前に服薬やてんかん等のお子様の状況を確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		ご家族への聞き取りにて対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成しております。それに基づいて研修や訓練を実施しております。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		安全計画を作成しHUGにて公開しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットがあった際には、全ての職員が確認できる様一定期間掲示をしています。また、月1回の事業所内会議の際に他事業所の内容を含めてその月に起きたヒヤリハットの確認を行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止委員会の指示の下、事業所内研修にて虐待防止の研修を行っております。また、毎月アンケートを実施しております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合のマニュアルを作成し対応しております。		